

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標	
I-1- (2)-⑤ 子どもの 特性を 伸ばす 教育の 充実	1	④ ⑱	博物館セカンド スクール事 業	自然史・ 歴史博 物館普 及課	博物館を第二の 学校と位置づけ、 修学旅行・社会見 学など学校教育の 一環として、子ど もたちの博物館利 用の促進を図るも のである。	学校団体誘致数	1,116団 体 (H24年 度)	目標 1,000 団 体 実績 312 団 体 達成率 31.2 %	1,000 団 体	1,000 団 体	1,000 団 体	1,000団 体以上 (毎年 度)	継続	1,202	1,143	維持	16,075	遅れ	博物館を第二の学校として 位置づけ、新科学館等との連 携を進めるとともに、SDGsの 観点を踏まえた教育プログラ ムを提供するといった学校教 育支援を推進し、子どもたち の学習意欲を喚起する。	遅れ	引き続き展示や企画展等の 充実、周辺施設との連携など により、来館者やリピーター の増加を図る。
						学校関係入館者 数	78,290 人 (H24年 度)	目標 70,000 人 実績 14,108 人 達成率 20.2 %	70,000 人	70,000 人	70,000 人	70,000 人 以上 (毎年 度)									
	2	④ ⑱	文学館普及研 究費	文学館	北九州市ゆかり の文学者の業績を 企画展等で紹介す るとともに、本市 の文芸の振興に功 績のあった文学者 を市内外に発信す る。	入館者数	10,741 人(H23 年度)	目標 30,000 人 実績 8,973 人 達成率 29.9 %	30,000 人	30,000 人	30,000 人	30,000 人 (毎年 度)	継続	18,671	22,486	増額	30,950	遅れ	リニューアルした常設展示 や市民が興味を持つ企画展の 開催の他、ゆかりの文学者の 顕彰活動の推進等により、若 年層などの入館者の増加を図 り、市民が文学に接する機会 を提供していく。		
I-1- (3)-② 家庭教 育支援 の充実	3	③ ④ ⑪ ⑱	家庭・地域・ 学校パート ナーシップ事 業	生涯学 習課	家庭教育学級や 子育てサポーター などの活動を通じ て、保護者の不安 を軽減するため、 関係機関や関係部 局と連携しながら 、情報提供、啓 発活動を行い、保 護者が家庭教育に ついて学ぶ機会 の充実、子どもの 基本的な生活習慣 定着への理解を促 すための情報提供 、啓発活動を進 める。	家庭教育学級長 向けアンケート 満足度	—	目標 85 % 実績 — 達成率 —	85 %	85 %	85 %	85% (毎年 度)	継続	4,895	5,150	増額	9,150	遅れ	子どもや家庭を取り巻く環 境が大きく変化している中 で、家庭教育を充実させるた め、市民センターが主体と なって家庭教育学級を実施・ 運営していく方法等につい て、関係者から意見を聞きな がら、引き続き検討してい く。 また、コロナ禍においても 家庭教育学級が実施できるよ う環境整備を図る。 家庭教育学級に参加できな い保護者への取組として、引 き続き、家庭教育力の向上や 子育て支援につながる動画等 をインターネットで配信し、 情報提供を行う。	遅れ	家庭教育学級は、コロナ禍 においても実施できるよう環 境整備を図る。また、関係者 から意見を聞きながら、引き 続き運営方法などを検討して いく。 課題である家庭教育学級に 参加できない保護者への取組 として、家庭教育力の向上や 子育て支援につながる動画等 を引き続きインターネットで 配信し、情報提供を行う。

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 （千円）	R4年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費 （目安） 金額 （千円）	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）			
						指標名等	現状値 （基準値）	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標		
I-1- (3)-③ 地域全 体が教 育を支 える社 会の実 現	4	③ ④ ⑪ ⑰	家庭・地域・ 学校パート ナーシップ事 業	生涯学 習課	家庭教育学級や 子育てサポーター などの活動を通じ て、保護者の不安 を軽減するため、 関係機関や関係部 局と連携しなが ら、情報提供、啓 発活動を行い、保 護者が家庭教育に ついて学ぶ機会 の充実、子どもの 基本的生活習慣定 着への理解を促す ための情報提供、 啓発活動を進め る。	家庭教育学級長 向けアンケート 満足度	—	目標	85 %	85 %	85 %	85% （毎年 度）	継続	4,895	5,150	増額	9,150	遅れ	子どもや家庭を取り巻く環 境が大きく変化している中 で、家庭教育を充実させるた め、市民センターが主体と なって家庭教育学級を実施・ 運営していく方法等につい て、関係者から意見を聞きな がら、引き続き検討してい く。 また、コロナ禍においても 家庭教育学級が実施できるよ う環境整備を図る。 家庭教育学級に参加できな い保護者への取組として、引 き続き、家庭教育力の向上や 子育て支援につながる動画等 をインターネットで配信し、 情報提供を行う。	遅れ	家庭教育学級は、コロナ禍 においても実施できるよう環 境整備を図る。また、関係者 から意見を聞きながら、引き 続き運営方法などを検討して いく。 課題である家庭教育学級に 参加できない保護者への取組 として、家庭教育力の向上や 子育て支援につながる動画等 を引き続きインターネットで 配信し、情報提供を行う。	
								実績	—													
								達成率	—													
I-3- (1)-① 多様な 学習機 会や学 習情 報、学 びの場 の提供	5	③ ④ ⑤ ⑪ ⑬ ⑯ ⑰	生涯学習活動 促進事業	生涯学 習課	各市民センター 等で、地域課題や 現代的課題等の解 決を目指す講座、 心と体の健康づく りを目指す講座な ど幅広い分野にわ たる講座を実施す る。 また、それぞれの 地域の特色を生か し、家庭・地域・ 学校が連携して、 子どもたちに様 々な体験活動や世 代間交流の機会を 提供し、地域を見 守り育てる意識を 高め、地域全体で 子どもの健全育成 に取り組む機運を 醸成する。	生涯学習市民講 座参加者数	93,589 人 (H25年 度)	目標	110,000 人	前年度以上	前年度以上	前年度 以上 （毎年 度）	継続	13,516	13,245	維持	6,900	順調	生涯学習市民講座が、より 地域の特色を生かした講座、 地域課題解決に向けた講座と なるよう市民センター館長研 修の充実を図り、多くの方に 多様な学習機会を提供してい く。 また、オンラインやウェブ 動画を活用した講座を実施で きるよう、オンライン環境の 整備を進めるとともに、市民 センター館長・職員等の研修 を充実させる。	やや 遅れ	地域の課題解決につながる 講座を提供できるよう、市民 センター館長研修の充実を図 る。 館長研修や各区の社会教育 主事・主事補を通じて、生涯 学習推進コーディネーターの 配置の意義・効果を周知する とともに、具体的な人材の見 つけ方などを指導し、生涯学 習推進コーディネーターの配 置割合の増加に向け取り組ん でいく。	
								実績	44,429 人													
								達成率	40.4 %													
						生涯学習活動に 関する満足度	96.3% (H25年 度)	目標	90 %	95 %	95 %	95% (R7年 度)	継続	6,969	6,686	維持	3,650	やや 遅れ	生涯学習推進コーディネー ターの配置については、館長 研修や区の社会教育主事・主 事補を通じて、配置の意義・ 効果に加え人材のを見つけ方な どを周知し、配置割合の増加 に向け取り組む。 また、生涯学習推進コー ディネーターを地域の人材と して育成するための研修を実 施し、研修で学んだ内容を実 践につなげられるように支援 を行う。			
								実績	87.9 %													
								達成率	97.7 %													
生涯学習推進 コーディネー ター配置事業	④ ⑪ ⑰	生涯学 習課	多様化・高度化 する市民の学習要 求に応え、生涯学 習事業の充実及び 学習の促進を目的 に、全市民セン ターに生涯学習推 進コーディネー ターを配置する。	生涯学習推進 コーディネー ターの配置割合	56.2% (H25年 度)	目標	85 %	60 %	60 %	60% （毎年 度）	継続	6,969	6,686	維持	3,650	やや 遅れ	生涯学習推進コーディネー ターの配置については、館長 研修や区の社会教育主事・主 事補を通じて、配置の意義・ 効果に加え人材のを見つけ方な どを周知し、配置割合の増加 に向け取り組む。 また、生涯学習推進コー ディネーターを地域の人材と して育成するための研修を実 施し、研修で学んだ内容を実 践につなげられるように支援 を行う。					
						実績	49.2 %															
						達成率	57.9 %															

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										← 【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標	
I-3-(2)-① 地域活動 をリード する人材の 育成	7	④ ⑪ ⑰	北九州市民カ レッジ事業	管理運 営課	市民の多様な学 習ニーズに対応し た生涯学習機会を 提供し、自己実現 の促進および「循 環型生涯学習社 会」を担う人材の 育成を図る。 北九州市民カ レッジの講座は、 生涯学習総合セン ター主催コース(ま ちづくり・人材育 成系、総合・教養 系の2コース)と高 等教育機関提携 コースを前期・後 期の2期で実施。	受講者数	1,682人 (H30年 度)	目標 1,500 人	実績 529 人	達成率 35.3 %	1,530 人	1,700 人	1,700人 (毎年 度)	継続	4,710	4,438	減額	20,700	順調	順調	市民の多様な学習ニーズに 対応したカリキュラムを構築 するとともに、地域に根付い た活動を実施するため、地域 の実情を反映し、地域課題の 解決につながる講座を増やし ていく。 また、オンラインやウェブ 動画を活用した講座を実施で きるよう、オンライン環境の 整備を進めるとともに、市民 センター館長・職員等の研修 を充実させる。 地域活動をリードする人材 を増やすため、学習者の活動 意向を把握し、活動につなげ るための仕組みづくりなど支 援を行う。
						受講者の満足度	90% (H25年 度)	目標 95 %	実績 99 %	達成率 104.2 %	95 %	95 %	95 %								
8	③ ④ ⑤ ⑪ ⑬ ⑯ ⑰	生涯学習活動 促進事業	生涯学 習課	各市民センター 等で、地域課題や 現代的課題等の解 決を目指す講座、 心と体の健康づく りを目指す講座な ど幅広い分野にわ たる講座を実施す る。 また、それぞれ の地域の特色を生 かし、家庭・地 域・学校が連携し て、子どもたちに 様々な体験活動や 世代間交流の機会 を提供し、地域ぐ るみで子どもを見 守り育てる意識を 高め、地域全体で 子どもの健全育成 に取り組む機運を 醸成する。	生涯学習市民講 座参加者数	93,589 人 (H25年 度)	目標 110,000 人	実績 44,429 人	達成率 40.4 %	前年度以上	前年度以上	前年度 以上 (毎年 度)	継続	13,516	13,245	維持	6,900	順調	順調	生涯学習市民講座が、より 地域の特色を生かした講座、 地域課題解決に向けた講座と なるよう市民センター館長研 修の充実を図り、多くの方に 多様な学習機会を提供してい く。 また、オンラインやウェブ 動画を活用した講座を実施で きるよう、オンライン環境の 整備を進めるとともに、市民 センター館長・職員等の研修 を充実させる。	
					生涯学習活動に 関する満足度	96.3% (H25年 度)	目標 90 %	実績 87.9 %	達成率 97.7 %	95 %	95 %	95 %									95%以 上 (R7年 度)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					中期 目標	成果の 方向性	R3年度	R4年度	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度	R4年度に向けて	R2年度	R4年度に向けて			
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度			予算額 (千円)	予算額 (千円)			事業 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	局施策 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
	9	④ ⑪ ⑰	地域課題解決 のための人材 活用支援事業	生涯 学習 課	地域が主体的に 地域課題を解決 することができるよ う、地域人材の発 掘～育成～活動ま でを体系的に支援 し、地域力アップ につながる仕組み をつくる。学んだ 成果を地域に活か す講座の開催、地 域活動をリードす る人材育成事業 (市民センター館 長等研修など)及 び多様な機関との 連携強化を実施す る。	「地域活動を リードする人材 やボランティア 活動に取り組む人 材が増加してい ると感じる」に 肯定的な回答を した割合	37.6% (H27年 度)	目標 60 %	実績 37.5 %	達成率 62.5 %	35 %	35 %	50% (R7年 度)	継続	617	540	減額	5,400	順調	地域活動をリードする人材 を増やすため、学習者の活動 意向を把握し、活動につなげ るための仕組みづくりなど支 援を行う。			
I-3- (2)-② 地域を支 えるボラ ンティア の育成	10	④ ⑰	NPO・市民活 動促進事業	市民活 動推 進課	市民活動の促進 に加え、NPOと行政 の協働を推進する ため、活動や協働 等に関する相談・ 助言、情報提供、 研修・啓発等を実 施する。	新規設立NPO法 人数(累計)	88法人 (H29年 度)	目標 135 法人	実績 128 法人	達成率 94.8 %			135法人 (R2年 度)										
					サポートセン ター利用者数	29,293 人 (R1年 度)	目標 25,000 人	実績 11,572 人	達成率 46.3 %				20,000 人 (毎年 度)	継続	17,709	17,434	維持	19,725	順調	市民活動の裾野を広げるた め、市民に対し活動のきっか けづくりとなるセミナー、講 演会を引き続き実施するとと もに、地域に支えられるNPO を育成するため、研修等の充 実を図る。			
					新規設立NPO法 人数	17法人 (R1年 度)	目標 15 法人	実績	達成率				15法人 (毎年 度)								市民活動を促進する講座の 実施や情報提供の充実を図 っていく。		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善																			
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)											
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標										
II-1-(1)-② 市民の消費生活の安定と向上	11	④	消費者啓発の推進	消費生活センター	悪質化・巧妙化する消費者被害を未然に防止するため、法律相談会や消費者啓発・教育講座等、消費者自身が危機回避や被害にあった場合の適切な対処法を身に付けるための各種事業を実施するなど、啓発の推進や支援を行う。	消費生活センターの認知度	92% (H23年度)	目標 90 %	実績 93.5 %	90 %	90 %	90 %	継続	11,820	11,755	維持	8,075	順調	今後も効果的・効率的な啓発活動に努め、相談窓口の周知とともに、賢い消費者の育成を図り、被害防止に取り組んでいく。	順調	今後も効果的・効率的な啓発活動に努め、相談窓口の周知とともに、賢い消費者の育成を図り、被害防止に取り組んでいく。									
						達成率	103.9 %				90%以上 (毎年度)																			
						消費生活センター等に相談又は相談を勧める市民の割合	91.5% (H26年度)	目標 90 %	実績 95.7 %	90 %	90 %	90 %										継続	6,747	6,929	維持	15,900	順調	引き続き、地域の自主防犯活動を支援していくほか、通勤や買い物等の外出時に、防犯の視点でまちを見て、不審者や危険な場所を発見したら、警察や市へ連絡する「ながら見守り」や、小学校の登下校の時間帯に、自宅や事務所の窓から子どもたちを見守る「窓から見守り」を推奨することで、地域の見守りの目を増やし、犯罪の抑止力を高めていく。 また、安全・安心なまち北九州を市内外に情報発信し、都市イメージの向上を図る。	順調	市民の体感治安の向上を図るため、引き続き安全・安心に関する活動の推進を図るほか、効果的・効率的に安全・安心なまちづくりに向けた情報や取組を市内外に発信していく。
						達成率	106.3 %				90%以上 (毎年度)																			
						防犯パトロール活動への参加者数	14,170 人 (H27年度)	目標 前年度 (38,225 人) 比増	実績 45,087 人	前年度比増	前年度比増	前年度比増 (毎年度)																		
						市民が感じる治安状況（体感治安）	73.7% (H27年度)	目標 前年度 (86.1%) 比増	実績 87.2 %	前年度比増	前年度比増	前年度比増 (毎年度)										継続	6,747	6,929	維持	15,900	順調	引き続き、地域の自主防犯活動を支援していくほか、通勤や買い物等の外出時に、防犯の視点でまちを見て、不審者や危険な場所を発見したら、警察や市へ連絡する「ながら見守り」や、小学校の登下校の時間帯に、自宅や事務所の窓から子どもたちを見守る「窓から見守り」を推奨することで、地域の見守りの目を増やし、犯罪の抑止力を高めていく。 また、安全・安心なまち北九州を市内外に情報発信し、都市イメージの向上を図る。	順調	市民の体感治安の向上を図るため、引き続き安全・安心に関する活動の推進を図るほか、効果的・効率的に安全・安心なまちづくりに向けた情報や取組を市内外に発信していく。
達成率	101.3 %				前年度比増 (毎年度)																									
II-1-(3)-① 「北九州市安全・安心条例」の制定と安全・安心に関わる施策の推進	12	①	日本トップクラスの安全・安心なまちづくり関連事業	安全・安心推進課	警察、関係団体等と連携し、市民等の防犯意識の向上や自主防犯活動の活発化、安全・安心な環境の整備などに取り組み、日本トップクラスの安全・安心なまちづくりを推進する。	防犯パトロール活動への参加者数	14,170 人 (H27年度)	目標 前年度 (38,225 人) 比増	実績 45,087 人	前年度比増	前年度比増	前年度比増 (毎年度)	継続	6,747	6,929	維持	15,900	順調	引き続き、地域の自主防犯活動を支援していくほか、通勤や買い物等の外出時に、防犯の視点でまちを見て、不審者や危険な場所を発見したら、警察や市へ連絡する「ながら見守り」や、小学校の登下校の時間帯に、自宅や事務所の窓から子どもたちを見守る「窓から見守り」を推奨することで、地域の見守りの目を増やし、犯罪の抑止力を高めていく。 また、安全・安心なまち北九州を市内外に情報発信し、都市イメージの向上を図る。	順調	市民の体感治安の向上を図るため、引き続き安全・安心に関する活動の推進を図るほか、効果的・効率的に安全・安心なまちづくりに向けた情報や取組を市内外に発信していく。									
						市民が感じる治安状況（体感治安）	73.7% (H27年度)	目標 前年度 (86.1%) 比増	実績 87.2 %	前年度比増	前年度比増	前年度比増 (毎年度)																		
						達成率	101.3 %				前年度比増 (毎年度)																			

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度									
13	①		子どもと女性の犯罪被害防止対策事業	安全・安心推進課	子どもや女性の犯罪被害を防止するため、子ども自身や子どもを見守る保護者、女性を対象とした安全セミナー等を開催し、防犯意識や知識の向上を図る。	「安全セミナー」「地域安全マップづくり」延べ実施校	目標	155 校	185 校	215 校	215校 (R4年度)	継続	3,087	2,886	減額	15,900	順調	小学校や自治会などにおいて「犯罪機会論セミナー」及び「地域安全マップづくり」を実施することで、「犯罪機会論」の考え方を周知し、防犯意識の醸成を図る。 また、防犯の専門家による防犯セミナーを「子ども」、「保護者・教員」、「女性」を対象に開催し、各々の防犯意識の向上を図る。  【中期目標の変更内容】 令和2年度実施校に基づき、185校（R3年度）から215校（R4年度）に変更した。	
						※中期目標改訂	実績	147 校											達成率
14	①		安全・安心総合相談ダイヤル事業	安全・安心推進課	市民生活の身近な安全・安心に関する相談を受付ける「安全・安心総合相談ダイヤル」を円滑に運用し、市民の相談機会の充実と不安感解消を図る。	安全・安心総合相談ダイヤルの認知度	目標	前年度 (33.6%) 比増	前年度比増	前年度比増	前年度 比増 (毎年度)	継続	19,575	19,178	維持	15,900	順調	市民が気軽に相談できる体制を引き続き整える。	
						22% (H27年度)	実績	36.1 %											達成率
15	⑤		地域防犯対策事業	安全・安心推進課	北九州市安全・安心条例では、「市民等は安全・安心に関する意識を自ら高め、行動すること」「市及び市民等は相互に連携を深め、防犯活動を協力して推進すること」と定められている。この事業では、市民の防犯意識を高め、地域住民の自主防犯活動を促進し、安全・安心を実感できるまちの実現を図る。	街頭犯罪件数	目標	前年 (2,498件) 比減	前年比減	前年比減	前年 比減	継続	24,734	28,841	増額	15,900	順調	既存の防犯活動団体の支援を強化し、防犯活動の更なる活性化を図る。 また、整備した防犯灯及び防犯カメラの適正な維持管理・運用を行うとともに、新たな防犯カメラの設置を適正に行っていく。  生活安全パトロール隊の多くが結成から10年を経過しており、メンバーの高齢化・固定化が進んでいることから、パトランキタキュー等の防犯活動団体との連携を促進することによって、地域の犯罪抑止力の強化を図る。	
						6,612件 (H25年度)	実績	2,019 件											達成率
					市民が感じる治安状況（体感治安）	目標	前年度 (86.1%) 比増	前年度比増	前年度比増	前年度 比増 (毎年度)									
				73.7% (H27年度)	実績	87.2 %			達成率										101.3 %

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号 ・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標
16	16	16	防犯灯設置事業	安全・安心都市整備課	夜間における犯罪の発生を未然に防止し、公衆の通行の安全を図るため地域と市が協力しながら、防犯灯を設置。 防犯灯の設置にあたっては、LED防犯灯の設置促進を図り、町内会等の地域の防犯灯の設置のため費用の一部を助成し、明るく安心して生活できるまちづくりを推進。	刑法犯認知件数	9,682件 (H27年)	目標	前年 (6,127件) 比減	前年比減	前年比減	前年比減 (毎年)	継続	89,287	64,197	減額	3,435	順調	引き続き、防犯灯のLED化を推進しながら、地域への補助等を実施する。 令和4年度は、通学路の新設及びLED化申請が減ったため、事業費が減額となっている。	
								実績	5,145 件											
								達成率	116.0 %											
						市民が感じる治安状況（体感治安）	73.7% (H27年度)	目標	前年度 (86.1%) 比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増 (毎年度)								
								実績	87.2 %											
								達成率	101.3 %											
17	17	16	防犯カメラ事業	安全・安心都市整備課	暴力団犯罪をはじめ街頭犯罪を抑止し、市民生活等の安全・安心を確保するため、人が多く集まる繁華街や幹線道路に既に設置している防犯カメラの適正な維持管理を行う。 更に、近年開発が進む駅周辺などに新たに防犯カメラを設置し、適切な維持管理を行う。	市民が感じる治安状況（体感治安）	73.7% (H27年度)	目標	前年度 (86.1%) 比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増 (毎年度)	拡大	46,417	57,951	増額	3,435	順調	市の主要駅周辺に新たに防犯カメラを設置するとともに、既設置の防犯カメラの保守・点検を適切に行うことにより、安定した運用を行う。 また、繁華街に市が設置した防犯カメラのうち、故障や劣化により使用が困難となったものについて更新を行う。	
								実績	87.2 %											
								達成率	101.3 %											
						刑法犯認知件数	9,682件 (H27年)	目標	前年 (6,127件) 比減	前年比減	前年比減	前年比減 (毎年)								
								実績	5,145 件											
								達成率	116.0 %											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標
18	16		防犯カメラ設置補助事業	安全・安心都市整備課	安全・安心条例の施行を機に、地域団体や事業者が犯罪抑止を目的として公共空間を撮影する防犯カメラを設置する際の経費の一部を補助することで、安全・安心な環境の構築に向けたさらなる取組を推進する。	刑法犯認知件数	9,682件 (H27年)	目標 前年 (6,127件) 比減	実績 5,145 件	前年比減	前年比減	継続	13,630	13,720	維持	3,435	順調			
								達成率	116.0 %											
								目標	前年度 (86.1%) 比増	前年度比増	前年度比増									前年度 比増 (毎年度)
						市民が感じる治安状況（体感治安）	73.7% (H27年度)	実績	87.2 %											
								達成率	101.3 %											
						II-1-(3)-③ 暴力団追放運動の推進	19	11	暴力団追放の推進	安全・安心推進課	社会全体で暴力団を排除する取組を推進するため、事業者・市民の暴排意識を高める市民暴力追放総決起大会や暴力追放強調月間による集中的な啓発活動などを実施し、官民一体となって取り組む。									暴追対策に対して評価した市民の割合
		達成率	96.9 %																	
		目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	前年度比増							RI年度 比増 (R4年度)								
企業における暴力団排除条項の規定割合	55.8% (H25年度)	実績	—																	
		達成率	—																	

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号 ・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度									
20	①		民事介入暴力 相談事業	安全・ 安心 推進 課	市民生活への暴 力団等の介入を排 除し、安全・安心 なまちづくりを図 るため、民事介入 暴力相談を実施。	暴追対策に対し て評価した市民 の割合	48% (H25年 度)	目標 前年度比増 (80.5%)	前年度比増	前年度比増	前年度 比増 (毎年 度)	継続	5,116	2,855	減額	4,300	順調	相談体制を見直し、より効 率的で効果的な運用を図る。	
							実績	78 %											
							達成率	96.9 %											
						企業における暴 力団排除条項の 規定割合	55.8% (H25年 度)	目標 単年度目標 設定なし	前年度比増	前年度比増	R1年度 比増 (R4年 度)								
							実績	—											
							達成率	—											
21	①		<新>暴力団 員の社会復帰 対策推進事業	安全・ 安心 推進 課	暴力団の壊滅に 向けて、本市に拠 点を置く暴力団構 成員の「離脱・就 労支援対策」を推 進し、「日本トッ プクラスの安全な まち」及び「誰も が安心を実感でき るまち」の実現を 図る。	「暴力団離脱・ 就労相談窓口」 での相談回数	—	目標		10 回	10回 (毎年 度)	—	—	10,000	—	6,550	—	暴力団員の離脱・就労支援 に関する相談窓口を設置する とともに、暴力団離脱者を雇 用した事業者に対し、同離脱 者の資格等取得や引越費用の 一部を補助することで、離 脱・就労を促進し、暴力団の 弱体化を図る。	
							実績												
							達成率												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施												【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標
II-1-(3)-④ 交通安全の推進	22	③	交通安全推進事業	安全・安心都市整備課	第10次北九州市交通安全計画に基づき、重点項目について啓発を実施。 生涯にわたる交通安全教育及び効果的な広報啓発活動により、市民に広く交通安全思想を普及し、交通事故防止を図るもの。	交通事故の発生件数（警察統計のため暦年でカウント）	8,325件 (H26年)	目標 7,300件以下	前年比減	前年比減	令和7年までに3,300件以下	継続	12,432	11,642	減額	9,800	順調	引き続き、市民に広く交通安全教育や効果的な広報啓発活動を行い、交通事故防止を図る。 また、令和3年度に引き続き、高齢運転者が加害者となる交通事故の防止を図るため、運転免許証自主返納の取組を継続する。	順調	引き続き交通安全防止について、子どもから高齢者まで幅広く啓発を行う。
						実績	4,450 件													
						達成率	139.0 %													
						目標	19人以下	前年比減	前年比減											
	交通事故死亡者数（警察統計のため暦年でカウント）	23人 (H26年)	目標 19人以下	前年比減	前年比減	令和7年までに15人以下	継続	27,881	27,881	維持	3,650	大変順調	交通公園での交通安全指導のほか、出前講座として小学生向け、高齢者向けの交通安全教室を開催しており、今後も交通事故防止について、子どもから高齢者まで幅広く啓発を行う。	順調	引き続き交通安全防止について、子どもから高齢者まで幅広く啓発を行う。					
	実績	20 人																		
達成率	94.7 %																			
目標	7,300件以下	前年比減	前年比減																	
交通事故の発生件数（警察統計のため暦年でカウント）	8,325件 (H26年)	目標 7,300件以下	前年比減	前年比減	令和7年までに3,300件以下	継続	27,881	27,881	維持	3,650	大変順調	交通公園での交通安全指導のほか、出前講座として小学生向け、高齢者向けの交通安全教室を開催しており、今後も交通事故防止について、子どもから高齢者まで幅広く啓発を行う。	順調	引き続き交通安全防止について、子どもから高齢者まで幅広く啓発を行う。						
実績	4,450 件																			
達成率	139.0 %																			
目標	前年(622件)比減	前年比減	前年比減																	
自転車関連事故の発生件数（警察統計のため暦年でカウント）	972件 (H26年)	目標 前年(622件)比減	前年比減	前年比減	前年比減(毎年)	継続	27,881	27,881	維持	3,650	大変順調	交通公園での交通安全指導のほか、出前講座として小学生向け、高齢者向けの交通安全教室を開催しており、今後も交通事故防止について、子どもから高齢者まで幅広く啓発を行う。	順調	引き続き交通安全防止について、子どもから高齢者まで幅広く啓発を行う。						
実績	496 件																			
達成率	120.3 %																			
目標	7,300件以下	前年比減	前年比減																	

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号 ・ 施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標	
II-1-(3)-⑤ 非行や 犯罪を 生まな い地域 づくり	24	⑤	地域防犯対策 事業	安全・ 安心推 進課	北九州市安全・ 安心条例では、 「市民等は安全・ 安心に関する意識 を自ら高め、行動 すること」「市及 び市民等は相互に 連携を深め、防犯 活動を協力して推 進すること」と定 められている。こ の事業では、市民 の防犯意識を高 め、地域住民の自 主防犯活動を促進 し、安全・安心を 実感できるまちの 実現を図る。	街頭犯罪件数	6,612件 (H25年)	目標	前年比減 (2,498件)	前年比減	前年比減	前年比 減	継続	24,734	28,841	増額	15,900	順調	生活安全パトロール隊の多 くが結成から10年を経過して おり、メンバーの高齢化・固 定化が進んでいることから、 パトランキタキュー等の防犯 活動団体との連携を促進する ことによって、地域の犯罪抑 止力の強化を図る。	順調	犯罪認知件数の減少に体感 治安が伴うよう、引き続き安 全・安心に関する情報や取組 を効果的に市内外に発信して いく。
								実績	2,019 件												
								達成率	119.2 %												
						市民が感じる治 安状況（体感治 安）	73.7% (H27年 度)	目標	前年度比増 (86.1%)	前年度比増	前年度比増	前年度 比増 (毎年 度)									
								実績	87.2 %												
								達成率	101.3 %												
III-1-(1)-④ 市民の モラル・マ ナーの 向上	25	①	モラル・マ ナーアップ関 連条例推進事 業	安全・ 安心都 市整備課	条例や基本計画 に基づき下記事業 に取り組む。 ・小倉・黒崎地区 (迷惑行為防止重 点地区)での巡視 活動(過料の適 用) ・地域が実施する 迷惑行為防止活動 に対する支援 ・小学生を対象と したモラル・マ ナーアップ教育 ・モラル・マナー アップに関する広 報啓発	迷惑行為防止に 係る地域活動団 体の増加	82団体 (H26年 度)	目標	前年度比増 (100団体)	前年度比増	前年度比増	前年度 比増 (毎年 度)	継続	15,827	17,773	増額	6,150	順調	引き続き、条例や基本計画 に基づき、地域活動団体への 支援や啓発活動等を実施し、 モラル・マナーアップの推進 に努める。	順調	モラル・マナーアップ推進 のため、より効果的な広報活 動などを行い、条例や基本計 画の認知度を向上させる。
								実績	102 団体												
								達成率	102.0 %												
						路上喫煙率（歩 行者に占める喫 煙者の割合）	小倉 0.17% 黒崎 0.24% (H26年 度)	目標	前年度以下 (小倉0.08% 黒崎0.25%)	前年度以下	前年度以下	前年度 以下 (毎年 度)									
								実績	小倉 0.06% 黒崎 0.19%												
								達成率	小倉 125.0% 黒崎 124.0%												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					中期目標	成果の方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)				
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度		R3年度											R4年度			
Ⅲ-2-(1)-② 地域における 伝統文化の発掘・継承	26	①	文化財保存補助	文化企画課	伝統文化の継承者や保存団体の活動を育成・支援し、市内の伝統文化を発掘し、次世代に継承していく。	指定無形民俗文化財保存支援団体数	16団体 (H26年度)	目標	17	団体	17	団体	17	団体	17団体 (毎年度)	継続	1,127	1,127	維持	11,050	順調	優先順位をつけながら、文化財の保存・活用に努める。	順調	市内の指定文化財について、その保存・継承と普及・啓発を支援するため、相談体制の維持と活動に関する補助金を交付している。 引き続き、優先順位をつけながら文化財の保存・活用に努める。
								実績	13	団体														
								達成率	76.5	%														
Ⅲ-2-(2)-① 発信力の高い文化芸術の振興	27	④ ①	芸術文化活性化事業	文化企画課	【劇場・自主事業】 エンターテインメントから芸術性の高い作品まで舞台芸術全般を網羅し、幅広い年代層をターゲットに公演を行う。また、北九州芸術劇場オリジナルの演劇作品等を制作し、公演を実施。  【響ホール・自主事業】 室内楽専用ホールの特性を生かした質の高いコンサートや響ホールを拠点として地元演奏家を積極的に育てるコンサートを行う。また、響ホールからの発信を意識した、オリジナリティのある演奏会を実施。	北九州芸術劇場・自主事業入場率	95% (H21年度)	目標	87	%	87	%	87	%	87% (R5年度)	継続	107,668	107,668	維持	3,550	順調	北九州芸術劇場や響ホールが持つ特性を活かし、多彩で良質な音楽・舞台芸術等を提供していく必要がある。そのため、民間プロダクションとの提携や全国の劇場やホールとの連携（共同制作）等、事業の効率化を念頭に置きながら、効果的な事業実施に努めていく。	順調	今後とも発信力が高く、まちの魅力づくりにつながる事業の実施を目指し、事業内容を検討し、効率性や収支の観点も加えながら、事業を実施していく。 また、映像製作誘致強化関連事業については、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底することで、引き続き国内外の映画等の大規模作品の誘致・支援を進めていく。 海外作品については、脚本中で本市を印象的に登場させるなど、実地でのロケが行えなくとも、将来のインバウンドを獲得できる取組を行う。 松永文庫では、企画展を安定実施し、動画配信による情報発信により、来館者数の目標を達成できるよう取組を継続していく。
								実績	78	%														
								達成率	89.7	%														
						響ホール事業・響ホール自主事業入場率	56% (H21年度)	目標	65	%	65	%	65	%	65% (R5年度)	継続	107,668	107,668	維持	3,550	順調	北九州芸術劇場や響ホールが持つ特性を活かし、多彩で良質な音楽・舞台芸術等を提供していく必要がある。そのため、民間プロダクションとの提携や全国の劇場やホールとの連携（共同制作）等、事業の効率化を念頭に置きながら、効果的な事業実施に努めていく。	順調	今後とも発信力が高く、まちの魅力づくりにつながる事業の実施を目指し、事業内容を検討し、効率性や収支の観点も加えながら、事業を実施していく。 また、映像製作誘致強化関連事業については、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底することで、引き続き国内外の映画等の大規模作品の誘致・支援を進めていく。 海外作品については、脚本中で本市を印象的に登場させるなど、実地でのロケが行えなくとも、将来のインバウンドを獲得できる取組を行う。 松永文庫では、企画展を安定実施し、動画配信による情報発信により、来館者数の目標を達成できるよう取組を継続していく。
								実績	71	%														
								達成率	109.2	%														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度									
28	④ ⑪		北九州国際音楽祭	文化企画課	地域の音楽文化の向上を図ることを目的に、クラシックコンサートを中心とした音楽祭に助成を行うもの。本音楽祭は、市制25周年を記念して始まり、令和3年度で34回を数え、本市の秋を彩る催し物として定着している。	北九州市国際音楽祭の満足度	83% (H21年度)	目標	85 %	85 %	85 %	85% (毎年度)	継続	40,000	40,000	維持	1,625	順調	企画内容等を充実させ、より質の高い音楽を提供し、集客の増加及び、満足度の向上を目指す。
								実績	99 %										
								達成率	116.5 %										
29	⑧ ⑪		映像製作誘致強化関連事業	文化企画課	映画・テレビドラマ等のロケ地誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。 また、活動成果の市民との共有や、「映画の街・北九州」という都市ブランドの発信により、街のにぎわいの創出や市民交流等のまちづくりにつなげる。	地域経済への貢献（直接経済効果）	100,000千円 (H21年度)	目標	150,000 千円	150,000 千円	150,000 千円	150,000千円 (R1年度以降毎年度)	継続	33,484	27,356	減額	39,600	やや遅れ	令和4年度も「新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」を遵守する安全な撮影を積極的に誘致し、国内外で「映画の街・北九州」という都市ブランドを維持、発展させるよう、映像製作誘致強化関連事業に取り組む。
						実績	23,080 千円												
						達成率	15.4 %												
						北九州フィルム・コミッションの市民への認知度	59.8% (H25年度)	目標	85.0 %			85.0% (R1年度以降毎年度)							
								実績	86.8 %										
								達成率	102.1 %										
						都市ブランド「映画の街・北九州」を広めたいと思う市民の割合	—	目標		17.0 %	17.0 %	17.0% (R3年度以降毎年度)							
								実績											
								達成率											
30	⑧ ⑪		松永文庫管理・運営事業	文化企画課	松永文庫が多数所蔵している貴重な映画資料等を活用し、企画展やイベントを実施し「映画の街・北九州」の魅力発信を行う。	年間来館者数	89,317人 (H26年度)	目標	10 万人	10 万人	10 万人	10万人 (毎年度)	継続	9,600	10,492	その他	4,900	遅れ	引き続き、新しい生活様式に則した感染予防対策を行いながら、安全に配慮した企画展を実施する。 また、Youtube等のSNSを活用した情報発信に努めることで一層の認知度向上を図るとともに、「映画の街・北九州」のシンボル施設としての魅力向上に努める。
								実績	3 万人										
								達成率	30.0 %										

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度		R3年度											R4年度		中期 目標
Ⅲ-2-(2)-② 市民の文化芸術活動の促進	31	④ ⑪	芸術文化育成 負担金・補助 金	文化企画課	本市の文化水準の向上及び地域文化の振興を推進することを目的として、積極的に文化活動を展開している文化団体等の事業に対して、助成を行う。	各種文化事業の実施	16事業 (H23年度)	目標 16 事業	実績 15 事業	達成率 93.8 %	16 事業	16 事業	16 事業	16事業 (毎年度)	継続	42,850	40,350	減額	5,825	順調	本市の文化水準の向上や市民の文化活動の活性化を目指し、積極的に文化活動を展開している団体等の事業を助成していく。		
	32	④ ⑪	北九州市文化 振興基金	文化企画課	北九州市の文化水準の向上と地域文化の振興に資することを目的として設置された北九州市文化振興基金運用果実により、市民の行う芸術・文化活動等に対し助成を行う。	北九州市文化振興基金奨励事業の補助件数	27件 (H21年度)	目標 25 件	実績 2 件	達成率 8.0 %	25件 (毎年度)	25件 (毎年度)	25件 (毎年度)	25件 (毎年度)	継続	9,800	9,800	維持	3,825	遅れ	市民の自主的な文化芸術活動を助成し、その内容がレベルアップするような効果的な支援を行うため、助成内容の見直しを適宜行っていく。また、ここ数年は運用益が大幅に減り、基金残高が減少しているため、寄附事業（北九州かるかるファンド）への寄附増額に向けてPRを強化する。	やや遅れ	助成制度は、市民レベルでの活動を支えるものであり、市の文化水準の向上や個性ある地域文化の振興のためにも、今後も継続して実施する。
Ⅲ-2-(2)-③ 市民が文化芸術に接する機会の拡大	33	④	美術館企画展 充実事業	美術館普及課	美術館本館及び分館において、多彩で魅力ある企画展を開催し、本市の美術・文化の振興を積極的に推進する。	美術館の入館者数	245,420人 (H26年度)	目標 240,000 人	実績 93,479 人	達成率 38.9 %	240,000人 (R4年度)	240,000人 (R4年度)	240,000人 (R4年度)	240,000人 (R4年度)	継続	107,544	118,519	増額	36,750	やや遅れ	美術館に触れる機会の少なかった児童を対象とした「ミュージアム・ツアー」事業と連携し、来館者の年齢層や個人から家庭への来館単位の変化に合せた企画展を研究し、より効果的な広報PRを行うなど、来館者の増加につなげる。	遅れ	これまで美術館に触れる機会の少なかった児童を対象とした「ミュージアム・ツアー」事業と連携し、来館者の年齢層や個人から家族への来館単位の変化に合せた企画展を研究し、より効果的な広報PRを行うなど、来館者の増加につなげる。 また、博物館については、令和4年度は開館20周年であり、展示の入れ替えや魅力ある特別展を企画していく。
						コレクション展の観覧者数	11,713人 (H26年度)	目標 30,000 人	実績 16,067 人	達成率 53.6 %	30,000人 (R4年度)	30,000人 (R4年度)	30,000人 (R4年度)										
	34	④	博物館企画展・特別展 充実事業	自然・歴史博物館普及課	企画展・特別展は、特定のテーマを設けて自然史や歴史に関する展示を行うことによって、市民が楽しく学べる場を提供し、本市の学術文化の発展を図るもの。	博物館総入館者数	369,711人 (H24年度)	目標 450,000 人	実績 137,736 人	達成率 30.6 %	450,000人 (毎年度)	450,000人 (毎年度)	450,000人 (毎年度)	450,000人 (毎年度)	拡大	52,600	63,570	増額	74,600	遅れ	令和4年度に開館20周年を迎えることを受け、これまで以上に魅力ある特別展を企画していく。あわせて新科学館等との連携を進め、来館者の増加につなげる。		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)				
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標			
Ⅲ-2-(2)-④ 文化芸術の担 い手の育 成	35	④	美術鑑賞事業 「ミュージアム・ツアー」	美術館普及課	市内の小学3年生を対象に、美術作品の鑑賞体験型のプログラムを作成し、子どもたちに体験してもらうことでシビックプライドの醸成をはかる。	参加校の割合	14% (H29年度)	目標	100 %	100 %	100 %	100% (毎年度)	継続	29,214	29,214	維持	25,650	やや遅れ	新型コロナウイルス感染症の影響でミュージアムツアーが中止になる学校もあったが、感染症の状況を鑑みながら徐々に再開している。 ミュージアムツアーの対象者を令和3年度から市内の国立・私立小学校まで拡大している。次世代の担い手の育成は非常に重要な課題であり、シビックプライドの醸成という観点からも、子どもたちや若者が文化・芸術に接する機会を拡大させていく。	やや遅れ	次世代の担い手の育成は非常に重要な課題であり、シビックプライドの醸成という観点からも、子どもたちや若者が文化・芸術に接する機会を拡大させていく。 今後も、学校・地域等における教育普及活動（アウトリーチ）やホール等の文化施設における体験活動等、子どもたちの文化・芸術に接する機会の充実に向けて、事業内容を検討していく。 また、引き続き、市民を対象とした公開事業や地域との連携、市民が合唱に親しむことのできる機会の提供などに努める。		
						実績	55.4 %																
						達成率	55.4 %																
36	④ ⑪		優れた文化・芸術との“出会い”創造事業	文化企画課	将来の文化・芸術の担い手を育成し、本市の文化振興をさらに進めるとともに、シビックプライドの醸成につなげていくため、若者や子どもたちを中心に優れた文化・芸術との“出会い”の場・機会を創造していく。	教育普及事業への参加者数の増加	2,500人 (H27年度)	目標	3,000 人	2,100 人	2,100 人	2,100人 (毎年度)	継続	6,757	6,757	維持	8,725	やや遅れ	放課後児童クラブ等、学校外における優れた文化・芸術との“出会い”の場の充実を図っていく。				
						実績	1,647 人																
						達成率	54.9 %																
37	④		子どもノンフィクション文学賞	文学館	「ノンフィクション」というジャンルの作品を書くことで、子どもたちが人間や社会への関心をもつ契機となり、思考能力や人間としての成長を促すことを目的に、全国の小中学生を対象に創設した文学賞。	応募総数	570件 (H27年度)	目標	1,000 件	1,000 件	1,000 件	1,000件 (毎年度)	継続	10,076	9,693	維持	5,400	遅れ	応募地域を広げ、全国規模の賞としてふさわしい応募数、内容となることを目指す。 また、市内小中学校にも直接働きかけ、市内からの応募数獲得に努める。				
						実績	352 件																
						達成率	35.2 %																

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)				
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標			
38	④		林芙美子文学賞	文学館	「放浪記」、 「浮雲」などの作品で知られ、特に短編の名手として評価の高い林芙美子の名を冠する文学賞。 多くの文学者、作家を輩出した北九州市の豊かな文学的土壌を全国に発信するとともに、これから文壇デビューを目指す新たな文学の才能を発掘することを目的に実施するもの。	「林芙美子文学賞」作品応募数	484件 (H29年度)	目標	500 件	500 件	500 件	500件 (毎年度)	継続	11,022	10,839	維持	4,550	順調	応募者が作家として書き続けていくことのできる力量を持った書き手に絞り込まれ、より文学賞らしい形で落ち着きつつある。 受賞者のその後の活躍も紹介するなど、広報の充実に努める。				
								実績	396 件													達成率	79.2 %
39	④ ⑪		「合唱の街づくり」推進事業	文化企画課	市民の歌声があふれる「合唱の街・北九州」の実現に向けて、子どもたちからシニア世代まで幅広い年代の多くの市民が、合唱する側や聴いて楽しむ側として参加するまちづくりを進めていく。	合唱関連事業における歌い手としての参加者	682人 (H27年度)	目標	250 人	250 人	250 人	250人 (毎年度)	継続	1,000	1,000	維持	7,150	やや遅れ	楽器を必要としない合唱は、誰もが参加しやすく、多世代と一緒に歌うことで世代間交流の促進という効果も期待される。 今後も、市民が合唱に親しむことのできる機会の提供を図る。				
								実績	100 人													達成率	40.0 %
Ⅲ-2-(2)-⑤ 文化芸術によるまちづくり	40	④ ⑧ ⑪	創造都市推進事業	東アジア文化都市推進室	「東アジア文化都市北九州」のレガシーを引継ぎ、「市民が文化芸術を身近に感じ、文化芸術を支えるまち」として「創造都市・北九州」の実現を図る。	2020年東京大会に向けた文化プログラムの認証件数（累計） ※指標廃止	H28年度開始	目標	20 件	20 件		20件 (R3年度)	継続	371,900	17,900	減額	64,000	順調	「東アジア文化都市北九州」で残した市民が作り手となる風土の醸成、市内アーティストの掘り起こし等のレガシーを引き継ぎ、青少年を対象とした文化芸術事業の拡充や日中韓交流事業などを行い、「創造都市・北九州」の実現に向け、新たなスタートを切る。  【指標廃止の理由】 2021年12月に「東アジア文化都市北九州」が閉幕するため。	やや遅れ	各事業を通じて、国内外へ「創造都市・北九州」としての都市ブランドを発信し、市民のシビックプライドの醸成につなげる。 さらに今後は、感染症対策を十分に行うなど新しい生活様式に対応しながら事業を実施していく。 各施設の運営については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行ったうえで、より一層魅力的な企画展等を企画し、来館者増及び来館者の満足度向上を図る。 なお、博物館については、令和4年度は開館20周年であり、展示の入れ替えや魅力ある特別展を企画していく。		
								実績	21 件													達成率	105.0 %
								目標	51.1 %	51.1 %	51.1 %											51.1% (R4年度)	
								実績	43.7 %														達成率

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					中期目標	成果の方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										
41	④		北九州市漫画ミュージアム普及事業	漫画ミュージアム事務局	北九州市漫画ミュージアムにおいて、常設展示の充実・企画展・イベント等の開催を通じて漫画文化の普及を目指す。	漫画ミュージアム年間入場者数	83,161人 (H27年度)	目標 100,000人	実績 25,564人	達成率 25.6%	10万人 (毎年度)	継続	63,580	63,392	維持	44,000	遅れ		来年度も、企画展関連イベントを行う等工夫を行うと同時に、漫画ミュージアムの認知度を上げることで目標達成を目指す。	
42	⑧ ⑪		映像製作誘致強化関連事業	文化企画課	映画・テレビドラマ等のロケ地誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。 また、活動成果の市民との共有や、「映画の街・北九州」という都市ブランドの発信により、街のにぎわいの創出や市民交流等のまちづくりにつなげる。	地域経済への貢献（直接経済効果）	100,000千円 (H21年度)	目標 150,000千円	実績 23,080千円	達成率 15.4%	150,000千円 (R1年度以降毎年度)	継続	33,484	27,356	減額	39,600	やや遅れ		令和4年度も「新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」を遵守する安全な撮影を積極的に誘致し、国内外で「映画の街・北九州」という都市ブランドを維持、発展させるよう、映像製作誘致強化関連事業に取り組む。	
						北九州フィルム・コミッションの市民への認知度	59.8% (H25年度)	目標 85.0%	実績 86.8%	達成率 102.1%	85.0% (R1年度以降毎年度)									
						都市ブランド「映画の街・北九州」を広めたいと思う市民の割合	—	目標 17.0%	実績 17.0%	達成率 100.0%	17.0% (R3年度以降毎年度)									
43	④ ⑪		北九州文学サロン管理運営事業	文化企画課	女性俳句の草分けである杉田久女・橋本多佳子などのPR・顕彰に取り組むとともに、「北九州文学サロン」を拠点として、点在する文学的素材やさまざまな文化資源・文化的取組みをつなげる仕組みづくりを行う。	「北九州文学サロン」の来館者数	H28年度開設	目標 14,000人	実績 6,164人	達成率 44.0%	14,000人 (毎年度)	継続	10,500	10,437	維持	6,400	やや遅れ		音楽や絵画など、様々な文化芸術と文学をつなぎ、魅力ある企画・取組の実施、情報発信が必要である。 引き続き、地元商店街や大学生と連携し、多くの人が気軽に文学に接する機会を提供し、来館者の増加につながる取組を進めていく。	

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										← 【Check】 評価		【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					中期目標	成果の方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										
44	⑧ ⑪		松永文庫管理・運営事業	文化企画課	松永文庫が多数所蔵している貴重な映画資料等を活用し、企画展やイベントを実施し「映画の街・北九州」の魅力発信を行う。	年間来館者数	89,317人 (H26年度)	目標 10万人	実績 3万人	達成率 30.0%	10万人 (毎年度)	継続	9,600	10,492	その他	4,900	遅れ		引き続き、新しい生活様式に則した感染予防対策を行いながら、安全に配慮した企画展を実施する。 また、Youtube等のSNSを活用した情報発信に努めることで一層の認知度向上を図るとともに、「映画の街・北九州」のシンボル施設としての魅力向上に努める。	
45	④		松本清張記念館研究センター・普及事業	松本清張記念館事務局	松本清張に関するあらゆる資料を収集・整理し、松本清張の「人と作品」を研究する調査研究・資料収集事業の実施や研究誌を発行する。また、松本清張研究者に奨励金を贈呈する研究奨励事業を実施する。 さらに、企画展の開催や講演会、読書感想文コンクールなどの市民文芸活動支援事業を行う。	松本清張記念館の入館者数	58,187人 (H22年度)	目標 前年度(47,828人)比増	実績 10,453人	達成率 21.9%	前年度比増 (毎年度)	継続	11,788	10,522	減額	23,250	遅れ		新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行ったうえで、より一層魅力的な企画展等を企画し、来館者増及び来館者の満足度向上を図る。	
						企画展入場者の満足度	85% (H22年度)	目標 90%	実績 87.7%	達成率 97.4%	90%以上 (毎年度)									
46	④ ⑧ ⑪		北九州市東田地区ミュージアムパーク創造事業	文化企画課	いのちのたび博物館を中核に、文化施設や商業施設等が連携し、東田地区を中心に地域の活性化や観光客の誘客に向けた取組を実施する。	東田地区における文化関連施設3館の来館者数の増加率(対H29年度比)	約73万人 (H29年度)	目標 10%増	実績 74%減	達成率 —	10%増 (R2年度)									
						東田地区の来訪者数(観光客数)	72.7万人 (H30年度)	目標 72万人	実績 —	達成率 —	200万人 (R6年度)	拡大	20,000	6,000	減額	9,800	遅れ		スペースワールドの閉園の影響で東田地区への来訪者が減少する中、いのちのたび博物館のほか、関係施設が連携した企画展の開催や、周遊ツアーの企画などを実施し、新型コロナウイルス感染症収束後における観光需要の増加に備えるとともに、春に開館する新科学館やイオンアウトレットモールとの積極的な連携を進める。	
						東田地区の外国人来訪者数(観光客数)	約7千人 (R1年度)	目標 4,000人	実績 —	達成率 —	7,000人									

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標	
47	④ ①		<新>日中詩人会議2022北九州事業	文化企画課	東アジア文化都市北九州のレガシーとして、また、「文学の街・北九州」のプレゼンス強化と発信、並びに、国を跨いだ交流が再スタートする「ポストコロナ」における新たな言葉の探求などを目的に、北九州市をフィールドに、日本と中国の詩人による対話、出版、並びに、朗読会やトークイベントなどの市民交流事業を行う。	日中詩人会議の参加者	—	目標			200 人	200人 (R4年度)	—	—	5,000	—	11,050	—	東アジア文化都市北九州のネクストステップとして、新たに独創的な文化事業を実施し、都市のポジティブなイメージを発信することで、文化事業の成果を今後の文化政策・都市政策へ還元していく。		
Ⅲ-2-(3)-① 誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり	48	③ ④	市民スポーツ大会	スポーツ振興課	「市民皆スポーツ」をモットーに、スポーツ・レクリエーションの普及振興を図り、市民の健康で明るい市民生活に寄与するため、市内全域で各種大会や行事を開催。	市民スポーツ大会選手参加者数	30,367人 (H26年度)	目標	21,000 人	21,000 人	21,000 人	21,000人 (R1年度以降毎年度)	継続	3,574	3,574	維持	4,650	順調	新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、安心安全な大会運営を行う必要がある。	順調	「誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり」を推進するため、市民に身近なスポーツ大会開催から、プロアスリートの育成、生涯スポーツの普及・振興など、幅広く事業を展開していく。
								実績	14,816 人												
								達成率	70.6 %												
49	③ ④		生涯スポーツ振興事業	スポーツ振興課	生涯スポーツの普及・振興のため、各区においてスポーツ教室、ニュースポーツ体験会などを開催。	各区におけるニュースポーツ及びファミリースポーツ大会の参加人数	12,371人 (H26年度)	目標	15,000 人	15,000 人	15,000 人	15,000人 (R1年度以降毎年度)	継続	16,602	16,506	維持	4,400	遅れ	新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、安心安全な大会運営を行う必要がある。		
								実績	428 人												
								達成率	2.9 %												
50	③ ④		総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業	スポーツ振興課	地域住民の自主的な運営により、身近な地域で様々なスポーツに親しむことのできる総合型地域スポーツクラブの育成・支援に取り組む。	総合型地域スポーツクラブの会員数	1,800人 (H22年度)	目標	4,000 人	4,000 人	4,000 人	4,000人 (R4年度)	継続	2,600	2,600	維持	2,900	やや遅れ	新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、安心安全な大会運営を行う。		
								実績	1,675 人												
								達成率	41.9 %												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施												【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標	
51	③ ④ ⑪		夢・スポーツ 振興事業	ス ポ ー ツ 振 興 課	ト ッ プ ア ス リ ー ト 等 の 活 用 に よ り 、 オ リ ン ピ ッ ク 選 手 な ど 国 際 、 全 国 大 会 で 活 躍 す る 、 次 世 代 を 担 う ト ッ プ ア ス リ ー ト を 育 成 す る と も に 、 ス ポ ー ツ に 対 す る 意 欲 を 醸 成 す る。	選手強化事業参加者数	210人 (H26年度)	目標 1,000 人	実績 2,027 人	達成率 202.7 %	1,000人 (毎年度)	継続	9,000	9,500	増額	7,900	大変 順調	パラリンピック種目の体験 教室を実施することにより、 パラスポーツに取り組む意欲 醸成する。			
						教室・強化講習 会等の実施	5種目 (H26年度)	目標 11 種目	実績 9 種目	達成率 81.8 %	11種目 以上 (毎年度)										
III-2- (3)-② スポーツを通 じたにぎわい づくり	52	③ ④ ⑧ ⑪	北九州マラソン 開催事業	ス ポ ー ツ 振 興 課	・コース：北九州 市役所前～東田地 区～戸畑駅前～東 港～門司港～北九 州国際会議場前 ・種目及び参加人 数 マラソン：11,000 名、ペアリレーマ ラソン：150組300 名、ファンラン (3km又は5km)： 1,000名	マラソン大会開 催による経済波 及効果	10.5億 円 (H25年 度)	目標 単年度目標 設定なし	実績 —	達成率 —	11.5億 円 (R4年度 までに)	継続	88,543	88,543	維持	39,500	やや 遅れ	新型コロナウイルス感染症 予防対策を徹底し、安心・安 全な実施を目指すとともに、 積極的な広報を行い、認知度 の向上を図る。	やや 遅れ	北九州マラソンや門司港レ トロマラソンなどをはじめと したスポーツ大会等につい て、新型コロナウイルス感 染症の感染防止対策を徹底し、 安心安全な実施を目指すとも に、大会の開催により、市 民のスポーツ・健康に対する 意識のさらなる向上を図り、 本市の魅力为全国へ発信す る。 また、アフターコロナを見 据えた大規模国際スポーツ大 会等の誘致・開催や、オリ ・パラキャンプ等の実施後の 交流等を行っていく。 北九州スタジアム維持管理 事業については、スタジアム の利用を通じて、まちのにぎ わいづくりを図るものである ため、継続して事業を実施し ていくとともに、コロナ禍で の施設利用をより一層図り、 市民に夢と感動を提供できる 施設として、適切な維持管理 運営を行っていく。	
インターネット でのマラソン大 会全国評価ラン キング(参加者 7,000人以上の 大会を対象)						9位 (H28年 度)	目標 1 位	実績 —	達成率 —	1位 (毎年度)											
						ボランティア リーダー登録者 数	15人 (H30年 度)	目標 30 人	実績 44 人	達成率 146.7 %	50人 (R4年 度)										

【Plan】 計画 / 【Do】 実施												【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標	
53	③ ④ ⑪		国際大会・全 国大会等ス ポーツ開催	ス ポ ー ツ 振 興 課	市内での国際大会等の開催により、「みる」スポーツの機会の拡大を図り、多くの市民のスポーツへの関心の向上及び個々の競技力の向上等につなげる。	国際・全国大会等の開催数	29回 (H26年度)	目標	30 回	30 回	30 回	30回 (毎年度)	継続	4,500	4,000	減額	3,650	遅れ	新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、安心安全な大会運営を行う必要がある。		
							実績	18 回													
							達成率	60.0 %													
						門司港レトロマ ラソンの参加人数	3,000人 (H26年度)	目標	3,000 人	3,000 人	3,000 人	定員 3,000人 (毎年度)									
							実績	0 人													
							達成率	0.0 %													
54	③ ④ ⑪		ギラヴァンツ北九州支援事業	ス ポ ー ツ 振 興 課	本市のシンボルチームである「ギラヴァンツ北九州」を支援するため、ホームゲーム開催経費や遠征費の一部を補助。	ギラヴァンツ北九州の市民認知度	87% (H26年度)	目標	90 %	90 %	90 %	90% (毎年度)	継続	40,000	40,000	維持	3,075	順調	「ギラヴァンツ北九州」への支援を継続し、本市のシンボルチームとして、市民への更なる定着を目指す。		
							実績	96.1 %													
							達成率	106.8 %													
						ギラヴァンツ北九州主催試合の平均入場者数	3,622人 (H26年度)	目標	7,000 人	7,000 人	7,000 人	7,000人 (毎年度)									
							実績	3,469 人													
							達成率	49.6 %													
55	③ ④ ⑪		ホームタウン推進事業	ス ポ ー ツ 振 興 課	本市をホームタウン・準ホームタウンとする、「ギラヴァンツ北九州」や「堺プレイガーズ」「福岡ソフトバンクホークス」等の市民観戦事業や、体験教室の開催など、市民がスポーツに親しむきっかけ作りを実施。	スポーツ観戦率	23% (H26年度)	目標	40 %	40 %	40 %	40% (R4年度)	継続	68,000	68,000	維持	6,575	遅れ	市民観戦や体験教室の開催等を継続し、市民が競技レベルの高いプロスポーツなどを「みる」機会の充実を図るとともに、スポーツに親しむきっかけづくりに取り組む。		
							実績	15.2 %													
							達成率	38.0 %													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号 ・ 施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)					
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標				
56	③ ④		大規模国際ス ポーツ大会等 誘致関係事業	国際 ス ポ ー ツ 大 会 推 進 室  世界 体 操 ・ 新 体 操 選 手 権 推 進 室	生涯スポーツの 振興やまちの賑わ い創りに繋がる大 規模国際スポーツ 大会の試合会場、 及び2020年東京オ リンピック・パラ リンピック競技大 会のキャンプ地を 本市に誘致するこ と、並びに誘致前 後のスポーツ交流 や文化交流等へと 繋げることを目的 として、誘致プロ モーションの展開 や官民一体となっ た「誘致委員会」 による積極的な活 動を行う。	ラグビーワール ドカップ2019及 び2020年東京オ リンピック・パ ラリンピック競 技大会における キャンプ地誘致 数  ※指標廃止	目標	オリ・パラ キャンプの 実施	オリ・パラ キャンプの 実施		1ヶ国又 は1競技 以上 (R3年 度)	—	—	—	—	—	—	—	—					
							実績	0	競 技															
							達成率	—																
						東京2020オリ ンピック・パラ リンピック競技 大会、2021世界 体操・新体操選 手権北九州大会 のレガシー構築 における各国と の交流回数  ※指標追加	目標			5	回	5回 (R4年 度)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
							実績																	
							達成率																	
						国際スポーツ大 会等の開催	目標	3	件	3	件	3	件	3件 (毎年 度)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
							実績	1	件															
							達成率	33.3	%															

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号 ・ 施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標		
57	③ ⑦ ⑧ ⑪	北九州スタジアム維持管理 事業	スポーツ振興課	北九州スタジアムは、都心部に人が集い、にぎわいあふれる北九州市の創出を目指し、Jリーグやラグビートップリーグなどの試合、小中高生のサッカー・ラグビー大会、グラウンド・ゴルフ大会、子どもたちへの芝生開放などに加え、まちににぎわいを生み出すイベントの開催など、市民に夢と感動を提供できる施設である。 施設の適切な維持管理・運営を実施することで、「みる」スポーツの機会提供の充実を図り、スポーツを通じたまちのにぎわいを生み出す。	「みる」スポーツの機会提供の充実 (グラウンドの年間利用日数)	目標	100	日	100	日	100	日	100日 (毎年度)	継続	104,251	104,251	維持	2,750	順調	施設の適切な維持管理及び、新型コロナウイルス感染症防止対策を行いつつ、スポーツ利用のほか様々なイベントを受け入れ、「みる」スポーツの充実やまちのにぎわいにつなげる。		
						実績	71	日														
						達成率	71.0	%														
Ⅲ-3-(1)-① 市民主体の地域づくりの促進	58	⑪ ⑰	地域総括補助金	地域振興課	各地域団体が連携・協力し、まちづくり協議会を中心に地域が一体となった地域づくりを促進するため、これまで市各部署が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を可能な限り一本化し、まちづくり協議会に交付する。	地域総括補助金を導入したまちづくり協議会数	130団体 (H26年度)	目標	134	団体	135	団体	136	団体	137団体 (R5年度)	継続	329,095	314,980	維持	3,825	順調	住民主体の地域づくり・まちづくりを推進するため、まちづくり協議会や各種地域団体に対する地域総括補助金の交付を行う。 さらに地域総括補助金の流用の促進に向けて取り組む。
								実績	134	団体												
								達成率	100.0	%												
	59	⑪ ⑰	住民主体の地域づくりの促進	地域振興課	まちづくり協議会を中心としたネットワークを構築し、まちづくり協議会が相互に情報を共有し交流できる場を設けるなど、住民主体の地域づくりを進める。	地域づくり活動への参加者の割合 ※中期目標改訂	39.6% (H29年度)	目標	46	%	46	%	50	%	50% (R7年度)	継続	1,580	2,480	増額	3,575	順調	まちづくり協議会等の地域団体に地域の課題解決に主体的に取り組んで頂くため、まちづくり専門家派遣制度の活用など、地域の実情やニーズに応じた支援を行う。また、まちづくり協議会等の地域団体と連携して市民センターを中心とした地域づくりに取り組む。  【中期目標の変更内容】 北九州市生涯学習推進計画の中期目標に合わせるため。
								実績	33.9	%												
								達成率	73.7	%												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施												【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)					
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度		R3年度										R4年度		中期 目標		
Ⅲ-3-(1)-② 地域コミュニティ施設の活用・運営	60	⑪ ⑰	市民センターの維持管理	地域振興課	市民センターの管理運営を円滑・適正に行うため、公募により多様な人材を市民センター館長として採用し、地域の活動を担うまちづくり協議会への管理委託などを行う。 また、地域活動の拠点施設としての機能の維持・向上を図るため、老朽化対策等の改修を計画的に行う。	市民センターI館当たりの利用者数	32千人 (R1年度)	目標	42	千人	42	千人	42	千人	42千人 (毎年度)	継続	2,497,682	2,765,842	増額	46,250	遅れ	市民センターにおけるWi-Fi環境の充実を図るなど、新たな活用方法を検討していく。 また、館長及び市民センター職員の能力向上を図る研修や、タイムリーな情報を発信することで、利用者増加を図っていく。	引き続き、市民センターにおけるWi-Fi環境の充実を図るなど、新たな活用方法を検討していく。 また、館長及び市民センター職員の能力向上を図る研修や、タイムリーな情報を発信することで、利用者増加を図っていく。	
						実績	16	千人																
						達成率	38.1	%																
						市民センターにおけるコミュニティ活動の参加人数(延べ)	2,084千人 (H27年度)	目標	2,200	千人	2,200	千人	2,200	千人										2,200千人 (毎年度)
						実績	856	千人																
						達成率	38.9	%																
Ⅲ-3-(1)-③ 自治会・町内会への加入促進	61	⑪ ⑰	自治会・町内会活性化の促進	地域振興課	自治会と連携しながら、加入率向上や組織・活動の見直し及び人材育成など新たな課題への対応につながる様々な事業に取り組み、自治会・町内会の活性化を図る。	地域づくり活動へ肯定的な考えの市民の割合	81.0% (H29年度)	目標	85	%	85	%	85	%	85% (毎年度)	継続	27,570	28,784	維持	4,095	順調	ポータルサイトを活用した自治会活動の重要性や活動内容のPR強化及び各自治会における加入促進・脱会防止の事例等について情報共有を図るとともに、マンション等の共同住宅の自治会加入について、専門家派遣等を行い自治会と連携して継続的な働きかけを行う。 また、引き続き「自治会活動応援事業者表彰事業」や「若い世代を対象にした自治会加入促進事業」を行うとともに、大学生や事業者等と連携した自治会加入促進事業や自治会活動のIT化を支援することによって、自治会役員の負担軽減及び若い世代の自治会への加入を促進する。	自治会・町内会を取り巻く課題を解決し活性化を促進するために、マンション等の管理会社等の関係者に積極的に働きかけていくほか、引き続き地域コミュニティの重要性や自治会の必要性について幅広く理解を求めることに力を入れていく。 また、地域でリーダーシップを発揮する人材や地域活動の担い手育成支援を積極的に行い、自治会・町内会の加入促進や活性化を図っていく。	
						実績	79.2	%																
						達成率	93.2	%																
						地域づくり活動への参加者の割合 ※中期目標改訂	39.6% (H29年度)	目標	46	%	46	%	50	%	50% (R7年度)									
						実績	33.9	%																
						達成率	73.7	%																

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標	
Ⅲ-3-(2)-① NPO・ボランティア活動の支援	62	④ ⑰	NPO・市民活動促進事業	市民活動推進課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	新規設立NPO法人数（累計）	88法人 (H29年度)	目標	135 法人			135法人 (R2年度)	継続	17,709	17,434	維持	19,725	順調	市民活動の裾野を広げるため、市民に対し活動のきっかけづくりとなるセミナー、講演会を引き続き実施するとともに、地域に支えられるNPOを育成するため、研修等の充実を図る。	順調	市民活動を促進する講座の実施や情報提供の充実を図っていく。 また、NPOへの資金的な支援を引き続き行っていく。
							実績	128 法人													
							達成率	94.8 %													
	新規設立NPO法人数	29,293人 (R1年度)	目標	25,000 人	20,000 人	20,000 人	20,000人 (毎年度)	継続	17,709	17,434	維持	19,725	順調	市民活動を促進する講座の実施や情報提供の充実を図っていく。 また、NPOへの資金的な支援を引き続き行っていく。							
			実績	11,572 人																	
			達成率	46.3 %																	
新規設立NPO法人数	17法人 (R1年度)	目標		15 法人	15 法人	15法人 (毎年度)	継続	17,709	17,434	維持	19,725	順調	市民活動を促進する講座の実施や情報提供の充実を図っていく。 また、NPOへの資金的な支援を引き続き行っていく。								
		実績																			
		達成率																			
63	④	NPO公益活動支援事業	市民活動推進課	市民活動の更なる促進を支援するため、NPO等が専門性を発揮して行う活動に対し、事業費の一部を補助する。	補助交付事業件数（累計）	109件 (R1年度)	目標	120 件	130 件	140 件	150件 (R5年度)	継続	2,702	2,694	維持	3,275	順調	市民ニーズが複雑化、多様化する中、専門性や先駆性を発揮して地域課題の解決等に取り組むNPOに対して、引き続き資金的な支援を行い、市民活動の促進を図る。	順調	市民活動を促進する講座の実施や情報提供の充実を図っていく。 また、NPOへの資金的な支援を引き続き行っていく。	
						実績	121 件														
						達成率	100.8 %														
					成果発表会の参加人数（累計）	431人 (R1年度)	目標	530 人	580 人	630 人	680人 (R5年度)	継続	2,702	2,694	維持	3,275	順調	市民ニーズが複雑化、多様化する中、専門性や先駆性を発揮して地域課題の解決等に取り組むNPOに対して、引き続き資金的な支援を行い、市民活動の促進を図る。			
							実績	457 人													
							達成率	86.2 %													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)				
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標			
Ⅲ-3-(2)-② NPO・企業、研究機関などの連携の構築	64	17	多様な主体による市民活動の輪づくり事業	市民活動推進課	市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動への理解を深め、新たな担い手の参加を促すとともに、NPOと様々な団体間のネットワークづくりや協働を支援する。	NPOと企業・地域・大学等との協働件数	4件 (R1年度)	目標 5 件	実績 10 件	達成率 200.0 %	5 件	5 件	5 件	5件 (毎年度)	継続	3,170	2,566	減額	2,470	大変 順調	市民主体のまちづくりを推進するため、企業や大学など多様な主体とNPOが交流する機会を提供し、団体間のネットワーク強化を図るとともに、NPOと多様な主体とのマッチングを行うコーディネーター役を設け、自主的な協働を支援する。	大変 順調	多様な主体による協働を推進するため、コーディネーター役によるマッチング等を引き続き実施し、団体間の協働を支援する。
Ⅲ-3-(3)-① 市民参画と協働のための仕組みづくり	65	4 17	「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	市民活動推進課	協働に関する理解を深めるための研修、協働事業を実施するために必要な団体運営力向上を図るための研修を実施する。また、経済的に自立したNPOの増加を図るため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。	NPOとの協働についての研修への参加者数（累計）	2,146人 (R1年度)	目標 2,000 人	実績 2,351 人	達成率 117.6 %	2,250 人	2,500 人	2,750人 (R5年度)	継続	1,231	1,206	維持	6,400	順調	協働を促進するため、協働意識向上のための研修、NPOの人材育成や運営力向上に資するセミナーの充実に努める。	大変 順調	協働への理解を深めるセミナーの開催や、コーディネーター役によるNPOとの多様な主体とのマッチング等、各団体間の自主的な協働の側面支援に引き続き取り組んでいく。	
						収入増加団体数（累計）	11団体 (H29年度)	目標 16 団体	実績 18 団体	達成率 112.5 %	16 団体	12 団体	16団体 (R2年度)										
						運営改善団体数（累計）	3団体 (R1年度)	目標 9 団体	実績 12 団体	達成率 133.3 %	9 団体	12 団体	15団体 (R5年度)										
66	17	多様な主体による市民活動の輪づくり事業	市民活動推進課	市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動への理解を深め、新たな担い手の参加を促すとともに、NPOと様々な団体間のネットワークづくりや協働を支援する。	NPOと企業・地域・大学等との協働件数	4件 (R1年度)	目標 5 件	実績 10 件	達成率 200.0 %	5 件	5 件	5 件	5件 (毎年度)	継続	3,170	2,566	減額	2,470	大変 順調	市民主体のまちづくりを推進するため、企業や大学など多様な主体とNPOが交流する機会を提供し、団体間のネットワーク強化を図るとともに、NPOと多様な主体とのマッチングを行うコーディネーター役を設け、自主的な協働を支援する。			

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										← 【Check】 評価		【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標
Ⅲ-3-(3)-② 市民との協働を推進 できる市役所づくり	67	④ ⑰	NPO・市民活動 促進事業	市民活動 推進課	市民活動の促進 に加え、NPOと行政 の協働を推進する ため、活動や協働 等に関する相談・ 助言、情報提供、 研修・啓発等を実 施する。	新規設立NPO法 人数（累計）	目標	135 法人				135法人 (R2年 度)	継続	17,709	17,434	維持	19,725	順調	市民活動の裾野を広げるた め、市民に対し活動のきっか けづくりとなるセミナー、講 演会を引き続き実施するとと もに、地域に支えられるNPO を育成するため、研修等の充 実を図る。	順調
							実績	88法人 (H29年 度)	128 法人											
							達成率		94.8 %											
						サポートセン ター利用者数	目標	29,293 人 (R1年 度)	25,000 人	20,000 人	20,000 人	20,000 人 (毎年 度)								
							実績		11,572 人											
							達成率		46.3 %											
新規設立NPO法 人数	目標			15 法人	15 法人	15法人 (毎年 度)														
	実績	17法人 (R1年 度)																		
	達成率																			
68	④ ⑰	「NPOとの協 働によるまち づくり」人材 育成事業	市民活動 推進課	協働に関する理 解を深めるための 研修、協働事業を 実施するために必 要な団体運営力向 上を図るための研 修を実施する。 また、経済的に 自立したNPOの増 加を図るため、資 金調達力や企画力 の向上を図るセ ミナーを実施する。	NPOとの協働に ついての研修へ の参加者数（累 計）	目標	2,000 人	2,250 人	2,500 人	2,750人 (R5年 度)	継続	1,231	1,206	維持	6,400	順調	協働を促進するため、協働 意識向上のための研修、NPO の人材育成や運営力向上に資 するセミナーの充実に努め る。	順調		
						実績	2,146人 (R1年 度)	2,351 人												
						達成率		117.6 %												
					収入増加団体数 (累計)	目標		16 団体											16団体 (R2年 度)	
						実績	11団体 (H29年 度)	18 団体												
						達成率		112.5 %												
運営改善団体数 (累計)	目標			9 団体	12 団体	15団体 (R5年 度)														
	実績	3団体 (R1年 度)																		
	達成率																			

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度									
IV-4-(1)-② 偉人・ 先人の 顕彰	69	④	文学館普及研究費	文学館	北九州市ゆかりの文学者の業績を企画展等で紹介するとともに、本市の文芸の振興に功績のあった文学者を市内外に発信する。	入館者数	10,741人(H23年度)	目標	30,000 人	30,000 人	30,000 人	30,000人(毎年度)	継続	18,671	22,486	増額	30,950	遅れ	リニューアルした常設展示や市民が興味を持つ企画展の開催の他、ゆかりの文学者の顕彰活動の推進等により、若年層などの入館者の増加を図り、市民が文学に接する機会を提供していく。
								実績	8,973 人										
								達成率	29.9 %										
	70	④	松本清張記念館研究センター・普及事業	松本清張記念館事務局	松本清張に関するあらゆる資料を収集・整理し、松本清張の「人と作品」を研究する調査研究・資料収集事業の実施や研究誌を発行する。また、松本清張研究者に奨励金を贈呈する研究奨励事業を実施する。 さらに、企画展の開催や講演会、読書感想文コンクールなどの市民文芸活動支援事業を行う。	松本清張記念館の入館者数	58,187人(H22年度)	目標	前年度(47,828人)比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増(毎年度)	継続	11,788	10,522	減額	23,250	遅れ	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行ったうえで、より一層魅力的な企画展等を企画し、来館者増及び来館者の満足度向上を図る。
								実績	10,453 人										
								達成率	21.9 %										
企画展入場者の満足度	85%(H22年度)	目標	90 %	90 %	90 %	90%以上(毎年度)	継続	11,788	10,522	減額	23,250	遅れ	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行ったうえで、より一層魅力的な企画展等を企画し、来館者増及び来館者の満足度向上を図る。						
		実績	87.7 %																
		達成率	97.4 %																

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号 ・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標	
IV-4- (2)-③ 都市イ メージ の向上	71	⑧ ①	映像製作誘致 強化関連事業	文化 企画 課	映画・テレビド ラマ等のロケ地誘 致や撮影支援を積 極的に行い、本市 の知名度と都市イ メージの向上を図 る。 また、活動成果 の市民との共有 や、「映画の街・ 北九州」という都 市ブランドの発信 により、街のにぎ わいの創出や市民 交流等のまちづく りにつなげる。	地域経済への貢 献（直接経済効 果）	100,000 千円 (H21年 度)	目標	150,000 千 円	150,000 千 円	150,000 千 円	150,000 千円 (R1年度 以降毎 年度)	継続	33,484	27,356	減額	39,600	やや 遅れ	令和4年度も「新型コロ ナウイルス感染予防対策ガイド ライン」を遵守する安全な撮 影を積極的に誘致し、国内外 で「映画の街・北九州」とい う都市ブランドを維持、発展 させるよう、映画製作誘致強 化関連事業に取り組む。	やや 遅れ	新型コロナウイルス感染症 予防対策を徹底することで、 引き続き国内外の映画等の大 規模作品の誘致・支援を進め ていく。 海外作品については、脚本 中で本市を印象的に登場させ るなど、実地でのロケが行え なくとも、将来のインバウン ドを獲得できる取組を行う。
							実績	23,080 千 円													
							達成率	15.4 %													
						北九州フィル ム・コミッショ ンの市民への認 知度	59.8% (H25年 度)	目標	85.0 %			85.0% (R1年度 以降毎 年度)									
							実績	86.8 %													
							達成率	102.1 %													
						都市ブランド 「映画の街・北 九州」を広めたい と思う市民の 割合	—	目標		17.0 %	17.0 %	17.0% (R3年度 以降毎 年度)									
							実績														
							達成率														